

■タイトル

妹島

■おはなし

事故で足を失ってしまったあなた

療養で3歳年下の妹に車椅子を押ししてもらい、海の見える田舎町にやって来た。

人口100人足らずの島で妹との二人きりでの生活が始まる

■世界観・雰囲気

寂しげで海の静寂が聞こえてくる

■キャラクター

■義理の妹；永海（なみ） 縁側こよりさん

包帯をしていて左目が隠れている（中二病ではない）

兄と同じく事故にあい、怪我をしてしまった。

小柄で華奢。無垢な雰囲気。口数は少なめ

友達はおらず、笑わない。

誰にも寄っていかない子。

どこか寂しそうな表情を時折浮かべる。

自分の名前を一人称で呼ぶのは「私」がないから。

厳密には自我はあるが、自分を「私」を認識すると死にたくなるから。

義父の連れ子であるが、今は両親ともに他界してしまい、家族は兄（あなた）だけになつてしまった。

実の父親と交わることで性行為に生の実感を覚えてしまい、周りの女の子との違和感に苛まれながら生きてきた。

他人とのつながりを感じる性行為が純粹に好きであることに気づいたため、あなた（義理の兄）の躰を求めることになる。

生きるためとはいえ、自分の父と行為をしたことを恥じているし

性行為にしか生の意味を見いだせない自分を終わっていると思つている。

それを自認しているがゆえに、否定して「私」とは呼ばない。

虚無っぽい口調ですが、エッチをするときにだけ目に光が灯ります。

感情が普段よりも10倍ぐらいわかりやすくなります。

虚無っぽい子ですが心は死んでないですし、

自分がただ嫌いで仕方ないというだけです。

服：白 ワンピース & 包帯（痛々しくない感じで） 無垢な佇まい

髪の色：銀

瞳の色；黒か青

身長；146cm 華奢で小柄

■義理の父

妻の死にショックを受けて自殺をしようと考えていた。

永海と身体の関係になることで正気を保っていた。

そこまで毒親ではなく妻に似ていく娘を見てどうしても耐えきれなくなって手をだしてしまった。

※もともとのきつかけは、永海が先に言い出したからではある。

■あなた

母が再婚したことにより、連れ子である永海と兄妹になる。

一目惚れしてしまったが、あまり仲良の良い関係とは言えなかった。

新しい一家で旅行に出かけ、事故のせいで前に乗っていた両親が死亡。

義父が亡くなってから、永海と義父との関係を明かされ衝撃を受けた。

寂しさからエッチがしたいという妹の要望にどうしていいかわからなかったものなし崩し的に受け入れてしまう。

彼女と行為をするときに亡き義父の顔がチラついて気が滅入ることがあるが、妹のこと

を大切にしたいと思っている。

事故で車椅子の生活をしているが、少しずつ歩けるようになりつつある。

妹の世話になりながらなんとか二人で暮らしている。

「1.初めての…。

台本初稿です。

部分的に声優さんの演技の補助のためにお兄さん（主人公）の台詞を入れている部分があります。

// 正面でできるだけ遠くから

あ…あの…お兄さん…。

おきて…ますか。永海です。

ドアを開けると真っ暗の部屋で兄が寝ていた。

// だんだんマイクに近づき40cmぐらいまで

今大丈夫…ですか。

よかったですね…。おたがい退院できて。

もじもじした様子で

妹（いや…そうじゃない…。お兄さんのことを夜這いしにきたのに…

いざめの前になると気後れしてしまう…。

永海は足の悪い兄の躰に慰めてもらおうとしている 最低だ…。でももう、我慢できない…

一人でしていても満たされない…)

お兄さんは…その…平気なんですか…。お母さんが亡くなって…。

そう…ですよね…。悲しんでばかりいられませんもんね。

お兄さんは大人ですね…。

妹(だめだ、そろそろ勇気を出して言わねば。意を決してここに来たのだから)

あのっ…。その…。

お兄さん…。

大変言い辛いのですが…。その…。なみと…。

一緒にいてもらえないでしょうか…。

妹(襲うつもりで来たのに…なんだこれ。

でも、もう限界だ…。今も逃げたくてたまらない)

// だんだん左前30cmへ

寂しいから…？

…そう…ですね…。やはり、二人だけになってしまったのもありますし…。

…お隣へいってもいいですか…。

兄（どうしたのだろう、永海はこんな子だったか？ でも、これはまずいので

はないか？

だって…俺はこの子のことを出会ったときから…。）

なんで…って言われても。

…っ。ごめんなさい。

布団の中に潜り込む

// 左耳 20 cm

…。

足はまだ痛みますか？

そうですね…。歩けないのは辛いですよね…。

事故にあったとき…永海のことをかばってくれてありがとうございます…。

とっさのことだったのですが、お兄さんが真っ先におおいかぶさってくれて…

それまで家ではほとんどき口もいたこともなかったのに…。

…そう…ですか。

義理だとしても、お兄さんだからとっさに身体が動いたなんて…。

そういうものなんです…。ぐすっ…。

妹（ああ、だめだ挫けそうになる。こんなに優しい人を永海は自分のために利用しようとしている…。

でも、もう躰が疼いて仕方ないっ）

ずみません…。それでも なみは…なみは…。お兄さんっ…。

少しの間、何も言わず手を貸してもらえますか…。

兄の手をにぎり、自分の下半身を触触らせる

／＼だんだん左の耳元へ ささやくように

すぐ…おわります…から…あ…はあ…はあ…。

んあ あ…あ…ごめんなさい はあ はあ…。

なみの汚いところ、触らせて ごめんなさい …あ…いい…

ん…あ…あ…お兄さんっ… きもちい あ…

…ごめんなさっ…ぐすっ びっくり…してますよね…急にこんな こと。ぐすっ

なみは…なみは…もお耐えられなくて…。

震える声で告白する

夜這い…しにきたんです…お兄さんのこと。

…ずっと我慢してたけれど…自分で 自分がとめられないんれす…ぐすつ…

あ あ…うあ…いい…。

足の不自由なお兄さんならっ できてしまうって…永海でも…できるって…

人として、最低なことを考えて…うあ んっ あ 指…はあ はあ。

ごめん…あ…あ…助けて…。お兄さん…永海…。もお 辛くって…助け…ぐすつ。

何も言わず…このまま手を貸してください…んあ あ…そ。あ…はあ…

出来れば おにいさんから…さわ んあ…そ…あ…いい…はあ…はあ…。

きもちいい…指…あ…それす…。

兄(頭がおかしくなりそうだ。家族を失って守らなければいけないと思ってい

た子が、こんな…

いいのか…いいのだろうか…この子は俺のことが好きなのか？

いや、だとしたらなぜ、そう言わない？ なにか違う気がする…。(

あ…あ。 そこつ きもちい…んっ…あ…あ…あ…あ…はあ…はあ…

お兄さん…上手…ぐすつ…。 ごめんなさい…ごめんなさいっ…ぐすつ…

ああ…はあ…はあ…あ…あ…お兄さんの指 おつきくて好き…。

濡れて…音して…やらしい…です…。 はあ…はあ…。 恥ずかしい…。

同じ年ぐらいの男の子に、自分の…こんなやらしい音聞かれるの…死ぬほど…恥ずかし

いです…。

それでも…我慢できなくて… あ…はあ…んっ…。

// 左前20cm

なみにも…さわらせてください…。

おちんちん…触らせて…触りたいれす…。

さわりますよ…。

ああ…お兄さんのここ…おつきくて硬いです。 はあ…はあ…。

声が低くなる。 性欲に突き動かされて衝動が抑えられなくなってきた。

// 正面10cm ささやきぎみで

逃げないでください…。

だめ…逃さないです…。

言いましたよね…夜這いに来たって…。歩けないでしょ…。

卑怯な子でごめんなさい…。

…よいしょ…。ズボン…失礼します。

フェラの準備

え…こんな大きい…（衝撃）

お兄さん…

妹（何日ぶりだろう…これが入るさまを想像すると、もう、興奮してしまう）

フェラの位置へ マイクの下方

じつとしてください。

いま、お兄さんの気持ちよくしますので…。

はあむ…あむあむあむ…あむあむあむ…ああ…お兄さんっ…

妹（お父さんの以外、初めてだ…。）

顔つきがどんどんエロくなる妹

はげしくしゃぶりつく

んっ んっ あむあむあむ あむあむあむっ！お兄さん…永海のお口でどんどん硬く

なっています…。

こんな固くなるんですねえ…すごい…あゝむ。あゝむ。

妹（ああ、もうめちゃくちゃだ。お兄さんとの関係は完全に終わった。

でも、止まらない…ただ男の躰がほしい…。）

あむっ あむっ！あむっ！ ちゆるちゆるちゆるちゆる…

いい、匂いれす…お兄さんの味…しゅき…。

妹（男の躰、興奮する。同年ぐらいの男の子…すごい…たくましい

永海が汚してしまうの…本当にいいの？ でも…とまらない…

申し訳ないけれど、後で死ぬほど詫びよう。けっして許しては貰えないだろう

けれど）

ああむ。あむあむ…。素敵なお顔れすよ、永海にもっと見せてくらはい…あむあむあむ

あむ…。

はあ…はあ…。にがい…。もう、我慢汁を出してしまつて…。

はあ…だめですからね まだ出しては。あむあむあむあむ…永海を愉しませてください

…。

ねえ…お兄さんなら…。我慢…できますよね？

兄「なんでこんなことを？　だって、俺のこと別になんとも思ってたただ
ろ？」

あむあむあむあむ…。ええ…永海　お兄さんのこと、別になんとも思ってたませんでした。

あむあむあむあむ…親が再婚して家族になっただけで…今迄だってほとんど会話らし
い会話もしてきませんでしたし…。

だからです。なんとも思ってたないから…いいんです…。

いって思ったのに…ぐすっ…

妹（心が痛い…でも止められないの。最悪だ…）

あむあむあむあむ…。あむあむあむあむ…。

お兄さん…永海のこと　好きですよね…。

見てたらわかります…。ただの女の子を見る目じゃない…。

永海だって女の子ですから…わかってしまいました…ぐすっ…。

本気で嫌なら足が動かなくなっただって…永海なんかが力でかなうはずない…。

それでも受け入れるのは…あなたが永海のこと…。

だから…がい…。

お願いです…。して…ください。

もう、どうしていいかわからないんです…。

Tr.2 初めてのエッチ

// 正面20cm

お兄さん…

できてますよ 準備…いつでも、永海のこと…。

しても…いいですか…。

// だんだん右耳元へ

ただ…お兄さんは永海の命の恩人です…。

事故であなたに庇ってもらわなければ、生きてなかったですから…。

だから…もし嫌なら、本気で抵抗してください。

なんか…これ以上すると、これ以上永海に関わると…あなたが…もっと酷い目に合う気がして…。

兄「かまわない。ずっと君のことが好きだったから…」

…。

ちゃんと考えて…ますか…。

ばか…ですね…。本当に襲っちゃいますよ？

しちゃいますよ？ ぐすつ…

兄「しないのか？」

// だんだん正面20cm

※このパート中マイクの位置は裁量におまかせします。

マイク指示は一応記載しますが、この通りじゃなくてOKです。

セックス中多少左右にブレたりとかしていただけるとうれしいです。

しますっ！しますよお！！ぐすつ

騎乗位で腰を下ろそうとする

性器が擦れ合う 久しぶりの感触に胸が踊る

いれますよ…いれますからね…。

ああ…おちんちん…はあ…はあ…何ヶ月ぶり…この感触…。

ごめんなさいね…。いただきます…。

ゆっくりと兄の顔を見下ろしながら腰を下ろす

騎乗位セックス

あ…あ…ああ…おつきい…こんなっ おつきいの…すごいです…永海の中 はいらな

あ…いい…あ…ああああ…。

全部いれる

…ああ…これらあ…永海が欲しかったのお…

※作中で初めて笑います。

…ふふふ…全部入るんですね。よかったです…。

永海の身体小さいですから…心配でした…はあ…はあ…。

動きますね！

上下に動く

んっ あ あっ あ あ。 もちい… きもちいよお…

んっ んあ んっ んっ んあ にいさん… すごっ…んあ あ あっ いい。

もおなんれもいや…あつ あ あつ あつ おちんちん かたつ… はあ…はあ…
任せてくらしいつ はあ、はあ、 永海、こう見えて、セックス、上手 れすからつ は
あ、はあつ

んっ あ あ あつ あつ あ

らって…永海はあ おとーさんとずうーつとエッチしてましたから。

兄「何を言つて…え…。嘘だろ？」

はあ、はあ んっ あ あつ あつ 嘘らつて…？

ん んあ ああ へへへ 嘘じゃないれすよお…

お父さんと永海は…してました…。 ここに来る前、再婚する前！

ずっと エッチ してました

何度も 何度も何度も こーしておちんちん永海に入れてもらいました…

兄「嘘だ！嘘だ！嘘だ！！！」

んっ あ あつ あ んっ だから…ほんとだつて…

んっ あ あ んっ くっ ああ いっ はあ はあ してたんです…。
んっ あ あっ あ ううん そんな顔しないで…お兄さん…あ んっ！

兄「いつから…？」

自分で腰を振り、喘ぎながら、自嘲するようにお願いします。

話すことより性行為に集中しています。

はあ…はあ…。中学 あがって から…ですかね…。んっ あ あっ…

学校はずっと 行ってましたけろ はあ はあ

お父さんと そんなこと してたから んっ んっ

同い年の子に 引け目は 消えないし、んっ あ あっ

普通になんて 振る舞え ないしっ はあ…はあ…ああ…きもちっ…

心の闇を感じるように でも父を支えたいと思った気持ちは本物です。

んあ 無理やりされたのか… いいえ

永海から 言ったんですよお…しようって はあ はあ。

お父さん 死のうとしてたんです…。

お母さんが死んで…お父さんもうどうでも良くなったんでしようね…。

だから…永海で 良ければ最期にしよって…んっ。

んふふ…あ あっ あ あ あ！ んあ！

はあ はあ はあ…。

身体を倒して、兄に抱きつく 腰をふるのをやめる

正面20cm

なんれもよかった…。力になりたかった れす…はあ はあ。

らっってお母さん いなくなっあ のままじゃ、

お父さんまでいなくなっあ しまう…。

二人とも いなくなっあ ぐすっ

仕方ないじゃないれすか…

永海が悪いんですか！？

お父さんに生きててほしいって、その気持ちが悪いってんですかっ！

// 正面至近距離へ キスをします。

しました…。何度も、キスもしました。こんな風にね…。

ちゅるちゅる…あむあむあむあむ…。

気持ち よかったです…。お母さんが亡くなって辛かったのは、お父さんだけじゃなかったんです…。

あむあむあむあむ…永海だって…辛い気持ちを忘れて楽になりたかった…。

…んあ はあ はあ エッチも、ほんと…気持ちよくて、永海は いつの間にかお父さんのこと、本気でっ

んっあ あ あなたの…別の人を見つけて…ぐすっ…

はあ…はあ…。れも…いまは…そんなことどうでもいいんです…。

// 正面20cm まだ抱きついて密着して倒れたままです。

もっと お兄さんになりたい…あ あ 永海のこと、 きもちく して あ あっ！

あ…あっ おにい さん んっ すごっ んっ あ あ いいっ

んっ あ あっ あっ いい んっ んっ あ あっ はあ はあ…そこ…

んっ んっ いや…ちゅるちゅる…ちゅるちゅる…おにいさん…。

／＼ だんだん右耳元へ

はあ…はあ…はあ…。

はじめはお父さんを支えたいから…申し出たんです…。

なのに…いざ始めたら…もうつやめられなくて…ぐすつ…。

永海…だめで…おかしくて…。

なんです…。エッチしてないとだめです。

エッチしてないと、身体が おかしく なって しまいそうなんです。はあ…はあ…。

学校にいても、お風呂に入っている時も、ベッドに入るときも、お父さんとしたときのこ

とが頭に浮かぶ！

1日我慢してるだけで、身を裂かれるほどの痛みを感じるんです…。わかりますか…？

へへ…狂ってますよねえ…。

いやなんです…こんな身体が死ぬほど嫌なんです…

自分、嫌過ぎて…いなくなってしまうたい…。

／＼ だんだん正面至近距離へ

よかったのになあ…再婚なんてしなくて。

お父さん…再婚したら…もう、永海には触れてくれなくなって…ぐすつ…。

なんで…なんれえ。

いまさら普通に戻って言われたって そんなの無理だよお。ぐすつ

絶望するように

助けて…助けてください…お兄さん…。助けてよお…。

永海はキスをしたまま腰を動かす

んちゅ…ちゅるちゅる…んっ…あ…あっ…ちゅるちゅる…ちゅるちゅる…んっ んっ

舌らしてえ…あむあむあむあむ…ああ キス きもち…あむあむあむあむ。

目がとろんとしてくる。エッチな本性が出てるなあとわかるような変化がある

と嬉しいです。

お兄さん…にいさん…あむあむあむ…きもちいです…。あむあむあむ…んっ んっ あ

あ

こうしてキスしてる あいららけ、忘れられる れす…。何もかも…んっ あ…あむあ

むあむあむ…頭んなか 真っ白になる…。

あむあむあむあむ…れろれろれろれろ…にいさん…あむあむあむあむ…。

はあ…はあ…身体起こしますよ…

初めてのおにーさんはじつとしていいですから…永海にまかせてください。

永海が上下に腰を降る

んっあ …あ んっ んっ んっ きっつ…あ…あ…いい

あ あっ んっ んっ ううん はあ はあ はあ

舌足らずな感じで、耳元でささやくように

…ああ…若くて 元気な おちんちん…。

お兄さんの お父さんより 大きくて 固くて…滾ってて…永海の奥まで抉ってくる

… はあ はあ…

すごいですねえ、お兄さん はあ…はあ…もお離したくない です。

永海のものにしてあげます…。もつと動きますね…。

んっ んっ あ いい あ あっ ぐっ んっ

(喘ぎ 20秒 たまにお兄さんと声を出す)

はあ…はあ…同い年ぐらいの人とエッチするのっ 永海 初めてれす はあ はあ

…お兄さん ういういしくて 可愛らしくって… 永海のかな小さい躰を見て 悦

んでくれて 興奮 してくれてっ あ

嬉しい…。もお永海のものです…。

はあ…はあ…んっ んっ んっ あっ あっ あっ あっ!

きもちいですよ…あ あっ あ

はあ はあ 初めてなのに すいません…汚れた 女が相手で ごめんなさい
でも エッチ 久しぶり らから 許して…

ずっと ずっと 我慢してたんれす ああ んっ んっ きもちいよお！

永海 手加減 れきない れす。

あっ あっ あ あっ おにーさん！ お兄さん！

永海のこと ろころか エッチ、嫌い なっちゃうかも…あ あっ あっ あっ んっ
激しすぎて 永海に弄ばれて こんな初めてれ すいません！ あ あ あっ きも

ちっ んっ んっ あ

…あ あ どろどろの永海のお汁！ なかつ！ はあはあ 味わって くださいっ！

はあ はあ…。

音っ いっぱいさせて、 やらしい 音 聞いて もっと大きく 勃起させ んっ ん
あ ああっ！

はあ はあ おにいさんも動いてください。 動けますかあ？

永海のおまんこに お仕置きしてください…。 お兄さんから、悪い妹にだめだよ…っ

て分かせて…くだ あ あん

あ あっ そう… そ あ あっ あ 奥 奥いっ んっ んっ あ

永海の躰 小さいからって 遠慮しなくて いいれすから んっ んっ にいさんの
好きに 動いて

あっ あっ！！ いい んっ うごいて もっと ついてくらさ あ あっ！ あ
っ！ いい いっ

おにいさん すごいよお…んっ んっ んっ んあ おっきい 奥が 永海の奥、

お腹までおちんちんきちゃってます んっ んあ

おっきいとこんなとこまで届くんれすねえっ へへ あ すごいっ…

んっ んっ ああ これだあ、 これがおちんちんらあ んっ

もおこれなしじゃいきてけないのっ はあ はあ

永海の中からっ おちんちんあればっいきてけそ れす

おっ おっ おお！ ああ ああ あ…あ！

いきそお いくっいくっ！ いくっ！！んあああああ！（絶頂）

はあ…はあ…はあ…。

身体を倒して、顔を近づける。

いっちゃった、全然我慢できなかった…。

はあ…はあ…はあ…。でも

右耳元へ

(ささやく感じなので、ここからは隠語を意識して耳に優しくいやら

しくいきます)

普段と少しキャラクターが変わっていますが、エッチでハイになっています。

物足りない…。全然たりないです…。

まだ、逃しませんよ…

まだ放しませんから…

今度は体を密着させたまましましよ…

う…あ あっ んっ んあ あ あっ…

仕方ないですよね…。おまんこが勝手に動いてしまうんですから…。

もう少し付き合ってください…あ…あっ んっ んあ あっ。おにい さん はあ はあ
…

聞こえますか…おまんこ ぎゅっぽ ぎゅっぽ して お兄さんのあそこを締め付け

てます…。

小さなおまんこなのに…こんなやらしい音するんですよ…。

こういうの好きですか…？ 耳元で…やらしいことささやいて、しばらくの…

お父さんは喜んでくれたんですよ…はぁ…はぁ…好きそう…うふふ。

おまんこ…おまんこ…くすくす…。なーんで…？やめろなんて嘘です…。

お兄さんの好きな永海がささやいてるんですよ…。

好き…ですよね…。 エッチなこと…嫌いなはずですよね…。

ちっちゃなおまんこに犯されて嬉しいですね。

はぁ はぁ…。 永海の小さな身体がお好きなんです…。

まだ成長途中のおっぱいとか お毛けの生えそろっていないつるつるおまんことか…

そーいうのが好きだから…こんなにびんびんなんですよね。くすくす…。

変態…変態ロリコンおにいさん…。 はぁむ…あむあむ…あむあむ…（耳舐め）

ぐちよぐちよにしていますよ

永海のおまんこが… おにいさんのおちんちんを犯して、食べて… とろとろ愛液でコ

ーティングしています…。

あむあむ…あむあむ…お兄さんのエッチ…。すけべ…。 でも…かわいい…くすくす…。

エッチ…興奮しますか…？ いいんですよ…正直になって。

はあ はあ…。永海もですから…。

こんな汚れたおまんこで、お兄さんの童貞おちんちんを食べてるとどんどん濡れちゃう…くすくす…。わかりますよね…お兄さんのベッド、愛液まみれにしています。

ロクな人間じゃないですよ…あなたが好きになった子は…残念でしたね…。

こんな妹でごめんなさい…。

永海のことなんも知らなくて…恋していたあなたを犯すのが愉しい。

ありがとうございます…。好きになってくれて…。

おいしいですよ…おちんちん…はあ、はあ、んっ あ あ あっ…いい

苦しかったなあ…セックスできないって地獄だったんですよ…？

だから感じさせてください お兄さんを…。はあ はあ もっと食べさせてください…

んあ あ…。あ はあ、はあ…おちんちん 熱い…あ あ…こんなの初めてです…。

おにーさん おにーさん…はあ…はあ…。

何も考えられないです…。

おまんこ慰めることしかできないです…。

んっ んっ んっ んっ あ あっ

ああ…いきそ…

童貞お兄さん置いてけぼりで、2回目いつちやいそう　れす…

れも、いいや　はあ　はあ　へへへ　もお　いきたい…いきたいれすう…

起き上がりますよ。　よいしょ…

だんだん早く腰を振ります。

正面至近距離へ

だからにいさんも　いってください

ん　あつ　あつ　はあはあ　永海ん中れえ

いってくらさい　はあ　んっ　んあ

あ　おまんこに　お兄さんの愛　いっぱい出して　んっ　あ　あつ

んちゅ…ちゅるちゅる…

ほら、永海の目を見て…

おにーさん…　出してくれますよね…　どろどろの永海のおまんこに射精しちゃって

くれますか…。

ほらっ　本気で動きますっ

んっ　あ　あつ　あつ　あ！　いいつ　かった！

ほんっと　いいおちんちんだなあ　んっ　あ　いく

ああ　いく　童貞おちんちんきもち　良すぎっです！

おっ おっ んっ んあ あっ いい んっ んっ！ ううん にいさん
もうだめっ いくっ

おにいさんっ！ きて！ きて！ きてえ！ あっ あっ んっ あ あああっ！

(絶頂)

〱 だんだん右耳元へ

はあ はあ はあ はあ 中 あつい…。

にい…さん… 本当に出しちゃったんですね…。

真面目な人なのに…。

ああ…そうじゃないです。謝らなくていいですよ…。

責任とつてとも言いません…。はあ…はあ…。

でも…永海以外の人とするときは気をつけましょうね…

はあむ…あむあむあむあむ…。あむあむあむあむ…。

13 添い寝エッチ

聞き手が落ち着くようなパートなので、あえぐ部分がありますが激しくならず、やんわりとさざ波のように押し寄せるような声で撫でるようお願いします。吐息と嬌声で寝かすつけるような 難しいですがそういうイメージです。

// 正面至近距離へ

あむあむあむあむ…。 ああ…キスが嬉しい。もつと…。 あむあむあむあむ…。
お兄さんは…こんな汚れた永海の躰でも悦んでくれるんですか…？
あむあむあむあむ…ちゆるちゆる…。

エッチが終わって虚無モードで テンションが低くなります。

はあ…はあ…すごく…もうしわけなさそうに…キスしました…。 お父さんは…。
永海を通じて、よく似た別の誰かを思い出してたんです。

躰は満たせても…永海が心の支えになることはなかったんですよね…。 わかつてはいま

した…。

でも…永海は…。

(ささやきと息遣い 暖かいイメージで)

…もう少し…抜かないでお願いしてもらってもいいですか…。

おにいさんので 永海のこと、よしよししてほしい…。

妹の頭を撫でるみたい…ここに…あやしてほしい…。

はあ…はあ…。

はあ…はあ…んあ ああ…いい…。お兄さん…。まだ硬いままです…。あつい…。

もう何年もしてなかったように感じます…。

ん…あ…はあ…はあ…。

ごめんなさい…多分、あなたが引くぐらい、やらしくて…どうしようもない子です…。

よく考えて…永海のことを見限ってくれればいいです。

ん…あ…はあ…はあ…はあ…はあ…。

腰をやんわりと動かす兄

寝かしつけるようなトラックなので、嬌声に安堵が混じったような声で。

ああ…はあ…はあ…んっ　ううん　あっ　あっ…　お兄さん。

…海　みたいです…お兄さんは。押しては…引いて…。はあ…はあ…はあ…

永海をさらってくれて…あたたかくて…　全部　身を委ねたくなる…。

ん…あ…はあ…はあ…。　気持ちいい…。

はあ…はあ…ううん…おにいさん…。

これからどうするか…？はあ…はあ…

／＼左耳もとへ

そうですね…。遠くに行こうと思います…。

誰も自分のことを知らない場所…。永海が存在なんて気にとめない町…。

同い年の子を見ると、いたたまれない気持ちになる…。

何も気にせず大人になって、幸せになって、自分の好きな人生を歩める子たち…。

そんな子がいる場所においても、心が休まらないんです…。

／＼耳舐め

あむあむあむあむ…あむあむあむあむ…んっ　あ　あ　はあ…はあ…

ねえ…出したばかりなのに…。

こんな身体を重ねて幸せなのに…。

物足りないって顔をしていますよ…。

…何が足りないんですか…。どうして満たされないんですか？

…はあむ…あむあむあむあむ…。んっ…うん…。あむあむあむあむ…。

兄「俺はただ、君に愛してほしいだけ…。」

// だんだん正面20cmへ

愛してあげてますよ…？

永海の中で愛してあげてます…。

兄「俺である必要はないのだから？」

すいません…。

愛なんて軽々しく言うものではありませんでした…。

好きになってくれて…嬉しいですよ…。

エッチしてくれて…嬉しいです…。

// 正面至近距離へ

あむあむあむあむ…。ううん…はあ… はあ…。

// 正面20cmへ

だけど…同じ嬉しいでも…永海にとっては、エッチのほうが勝ってしまう…。

お兄さんの言う言う通り…あなたでなくても…

あなたである必要はないのかもしれないです…。

兄「何がそこまで君を追い詰めているんだ…過去か？

時間が経てば忘れられないのか？」

永海は「人間の愛」を信じていないのでしょね…。

これでもかってぐらい、お兄さんの心に触れて幸せになりたいです…。

でも…怖い…。あなたが不幸になるのが目に見えている…。

永海の後ろにあるもの…。

お父さんとエッチした過去が、こうして身体を重ねていれば嫌でも頭をよぎるでしょ…。

おにーさんも、奈美も 押しつぶされてしまうんです…。

はむはむ…ちゆるちゆる…ちゆるちゆる…はあ…はあ… (キス)

兄「築き上げればいいじゃないか。そうやって君の親も結婚して君が生まれたんだらう？」

…永海には見えません…未来のことなんて。

愛を築き上げるなんて高尚なこと言われてもピンときません。

あむあむあむあむ…んっ あむあむあむあむ…。あ…キス きもちいい…。

(キス 嬌声 20秒)

不幸中の幸いか、永海は自分を恥じる心だけは持ち合わせています…。

でなければ…なりふり構わず男の人の躰を求めて街をふらふらしていたことでしょう

…。

よかったです…。そんなことする前に、あなたに出会えて…。

ん…あむあむあむあむ…。おにいさん…。あむあむあむあむ…。

だんだん左耳元へ

ねえ、また出てますよ…。熱いの…。はあ…はあ…。おにいさん…。

どくどく…どくどく…って はあ…はあ…。

んっ あ はあ…はあ…にぃさん かわいい…。 んっ あ…はあ…はあ…

お射精できて、気持ちいいですか…。 はあはあ…。

妹に中出しするのは…気持ちいいですか…。

永海は、うれしいです…。 あなたみたいな優しい人に好きになってもらえて…はあ は

あ…。

まだ生きてていいんだなあって…救われる思いです…。

それに…お兄さんが永海に夢中になって見てくれると…そんなに欲情してくれると…

濡れてしまうんです…だめな子ですから…。

ください…。 はあむ…あむあむあむあむ…。 (耳舐め)

好きだけ出していいですからね…。 あむあむあむあむ…。

あなたが好きになってしまった子に、お射精してください…。

あ…あ…あむあむあむあむ…。

…まだ…出てますねえ…よしよし。 はあ…はあ…。

ああ…あつい…あついなあ…。

どくどく…どくどく…って…ぬくもりで満たされる…。

はげしく喘がないで

よしよし…。 永海を想って泣いてくださるのは嬉しいですが…。

ですがそんなあなたの顔をみて、永海は滾ってしまいます…。

腰が勝手に動いちゃいます…。

あむあむあむあむ…んっ…あ…あ…あっ はあ…はあ…。

なんですか…。ご要望？

いいですよ…。永海が叶えられる範囲でしたら…。

兄「お兄ちゃんって呼んでほしい。君の心が癒えるまで兄になりたい…」

…そんなことでしたらお安い御用です。

甘えるように お兄ちゃんと呼ぶ

「お兄ちゃん…もっと永海に出して…。

奈美におちんちんちょうだい…お兄ちゃん…」

やんわりと、嬌声がエッチになりすぎないように

ん…あ…あ…「お兄ちゃん…お兄ちゃん…ああ…おちんちんかたいよお 入らないよお」

…はあ…はあ…。

ああ…「お兄ちゃん…ぐすっ…こんな妹で…ごめんねっ」 うっ…

あ…あ 「でも 永海のこと 好きになってくれて 嬉しいよ…もっと して」 あ

あっ んっ…

あっ あ んっ んっ はあ…はあ…お兄ちゃん…大好きだよ…。

トラック：砂浜にて

車椅子を引きながら海辺を歩いている。

／＼後ろから40cm ぼやく 虚無な語り口で。

お兄ちゃん：お兄ちゃん：？

寝てしまったんですか：？

潮風にあたりたいって言ったのに…。

：ほんと、海以外何もない町。

外を歩いているのは漁師のおじいさんか、野良猫ぐらいしかいませんね…。

空を見上げて、想いを馳せる

あんなに騒がしくて苦手だった街が…いまは少し懐かしいぐらいです。

無表情でなんとも言えない声で。

あれ…起きたんですか。どうします？

風も冷たくなってきましたし、家に戻りますか…？

意味深に 右耳元でささやく

※作中でマイクの移動は徐々におこなってください。

それとも…。

海で少しゆっくりしていきますか？

…わかりました。

砂浜

車椅子から手を引く

右前30cm

浜辺ですが…車椅子ではここから先は難しそうですね…。

お兄ちゃん、立てますか？

頑張ってください…。

昨日は病院で少しだけ歩いてたましたし…永海が手を貸せば…。

ん…っ そう 頑張つて。そこの岩かげまで…

ゆっくり行きますよ…。ん…ううん…。その調子です…。

っと。ついた。

よかった…。順調に回復してます。

年明けにはきつと車椅子も必要なくなりますね…。

あれ…風の匂いが変わった…？

そうか…これが夕風ってやつですね…。

少しずつ感情の機微がわかるように演じてください（エッチのときだけ瞳に

光が灯る）

正面20cm

ねえ もういいですか…？我慢しなくて

ここなら物陰でよく見えませんし…。

伏し目がちに

だんだんマイク至近距離まで移動

……。

キスしてください…お兄ちゃん…。

して…永海もう…（我慢できないです）

キス

んちゅ…れろれろれろ…あむあむあむ ああ…。

おにい ちゃん…。あむあむあむ…。

胸を弄られる…力が抜けてだんだん足元が崩れる永海

ん…そ むね さわってくだ あっ…あむあむあむ…ん…いい です…

きもち…あっ んん おにーちゃんの…好きなように 触ってください…んっ。

ん…あ…あむあむあむ…キスしたままでいいですか…。 あむあむあむ…

もつとにいちゃんが…ん…あむあむあむ…ほし…ん…あ…あむあむあむ…

あっ…脚が…んんっ！

力が抜けて倒れる

すいません…。力が抜けてしまいました。大丈夫ですか？

はい…永海は平気です。

見つめ合う

…。

やんわりキス ゆったりと

はむはむ…はむはむ…あむあむあむ…。にいちゃ…。あむあむあむ。

お外でするのは躊躇うなあって言ったのに…。

あむあむあむ…あむあむあむ…。たしかに…。いつもより遠慮がちです…。

でも胸を触る手付きはいつもより…ちゆるちゆる…。

…じれったくて…はあ…はあ… ああ…お父さんの 手…みたい…れす。

／＼ 父という言葉に兄が反応して怒りを強め、キスが乱暴になる。

あむあむあむ…んん！ はあ はあ！

兄（悪気ないのだろう…。永海の父も悪意があったわけではないのだから。

だけど自分とこういうことをしているときにあいつの話をするのは止めてほ

しい）

大丈夫…ですか？怖い顔をしていました。

…すいません。永海が悪かったです。でも、決してお父さんが悪いわけじゃ…。

妹（自分と身体の関係を持っていた父親のことを兄が気に入らないことも十分

わかってる。だとしても自分にとって父親は生きる支えになっていた。だから

悪く言ってほしくないのに）

※作中にあるかっこは全部読まなくてOKです

ん…あ…おにいちゃ…あ…パンツっ…あ 指いっ…ん…あ…ごめんなさいっ…。

変な声っ…あっ…ああ…人が通ったら聞こえ…あっ…はあ…はあ…。

そ…でした…。こんなところ、誰も こなっ うっ！…れも んっ ああ！

はずかしい…あっ はあ…はあ…んっ んっ ゆびい…そんなどこ なでなでして
いやあ…あ…あ…

妹（いつもより乱暴なお兄ちゃんの指 優しく愛撫されるのが好きなのに…

ああ…本当にお兄ちゃんは永海のことが好きなんだ…。

こんなに想ってくれて…怒ってくれてる…温かい…嬉しい…)

はあ…はあ…ちゆるちゆる…ちゆるちゆる…。ごめん なさいっ…あ。うう…

永海が いけないんです …おにいちゃんの気持ちも考えず…あ…あ…

らから…もっと、お仕置き してくださいっ…。

ん…んっ…おにい…ちゃん…おにい ひゃ あ…。

再びあまめのキス 下半身をまさぐられてるので感じながら口づけ

嬉しそうに 幸せそうに

クリトリスをいじられてさらに濡れる

はあむ…あむ…ううん…あむあむあむ…あむあむあむ…。にいちゃ…あむあむあむ…ん
…あ…あむあむあむ。

くちゅくちゅって…音 してますっ…。永海のこと…。もお…。お兄ちゃんの 指れ、
すごいことになっちゃ んー…あ！…ああ。

クリ…きもちよすぎ…あっ あっ…もお やら…。音 でてるう…お外なのにつ…抑え
られ…ん…んっ はあ…はあ…

…海の音でよく聞こえないって そんな 嘘れすう …

恥ずかしいよお…。 うっ んん…はあ…かわいいつ…て。

はあ…はあ…

マイク距離20cm 声をだんだん大きく

もつと言ってください。 かわいい…つて。

永海の名前…よんれ…くらさ…あ…あっ

なみも…おにいちゃんの耳元で…ささやいて あげ…あ…あっ…あつたかいよお…お
にいちゃんっ…にいちゃん…。

んっ あ。クリらめ…

(喘ぎ20秒 たまにお兄ちゃんと呼ぶ)

〓 自分が嫌すぎて「私」であることをやめたいと思っている永海ですが、愛情
を欲してやまないという矛盾があります。

／＼ 兄の好きという気持ちがある今の自分で良いという気持ちにさせてくるので落

ち着かなく、居心地の悪さを感じています。

ちゆるちゆる…見ないでください…永海の顔…見ないで…ください。

だって…ん…はあ…んっ 見られてると…なぜか顔 熱くなって…。

だんだん呂律が悪くなっていきます

胸…くるしいんれす！ このままらと すぐ、いく

いって しまいそ…あ…あ…ます…。

はあ…はあ…。ほらあ…どんどんでて きちやつて…ううん あ…あ…ん あ…おにい

ちゃ…やら やだ。

あつ…うう…クリ…クリっ あっ いい…あ…あ…

いきそうになって指をとめる

はあ…はあ…。

中…中に…指を…出したり、入れたりしてもらえますか…。

はい…もう…クリだけじゃ切なくて…耐えられません…はあ…はあ…はあ…はあ。

指をゆっくりと入れる

ゆっくり…ん…あ…おにいちゃん…あ あ 永海の中でお兄ちゃんの指が出たりは
いったりして んっ あ あ

やっ…み、見ないれ くださ… んんっ いや…んっ 意地悪っ おにいちゃん…

…夕闇れも はつきり みえて ます お兄ちゃん 顔 あ あっ…っう…きもちい
…ん んん!

永海の 顔 いやらしい 顔 ずっと 見て 嫌です… んっ あ あ みないれえ
…はずか しい んあ

(喘ぎ20秒)

絶頂に向けて頑張ってください

お願いれす…もつとゆっくり…れないと…あっ あっ

んっ あ…いっく…指 もうだめっ おにい あ…あ いっちやう…

見ないれ…みないれえ! んっ あ ああっ やら、 いっく! あっ ああっ!!

(絶頂)

いつてる顔を愛おしそうに見つめる兄

マイク…正面至近距離

はあ…はあ…はあ…んちゅ…ちゆるちゆる…おにいちゃん…。(キス)

永海のいつてる顔…いつても…目え、ずっと…離してくれないの…嫌れす…いじわるれす。

んちゅ…ちゆるちゆる…。

いくところ…見てくるの、だめらって…何回も言ってるのに…どうして。んちゅ…ちゆるちゆる…。

好きっていつても…だめです…。

どうせまた見るんですよね…？許しません…。

んちゅ…ちゆるちゆる…ちゆるちゆる…あむあむあむ…。

はあ…はあ…。…すごい、汗出てきます…。

風がやんだ浜辺はやけに暑いです…。

// 波にさらわれて、消えていくような終わり方を意識して

永海の汗の匂い お兄ちゃん どきどきするんですか…。はあ はあ…ちゆるちゆる…。

…別に…嫌ではないです。ただ…恥ずかしいれす…あむあむ…ちゆるちゆる。

…だめ。触ってくれないのは…だめです…あむあむあむ…。

いいです…もつとさわって… やさしく…触れてください…。ん…あむあむあむ…あ…
あむあむあむ…。

はあ…はあ…おにいちゃん…。きもち… ん…はあ…はあ…。

(やんわり喘ぎ30秒 お兄ちゃんとたまに呼ぶ)

「5」 宵闇の砂浜の添い寝

トラック1の続き

再びやさしく秘所を撫でる兄

ここから、ゆったりと視聴者を寝かしつけるような雰囲気です。

声が高くなりすぎないように気をつけてください。

耳元で、以降キスではなく、耳舐めでお願いします。

マイク…右耳元

はあ…はあ…。

ん…きもちいです。そこ…。お兄ちゃん…。永海のかな…おかしくないですか…。

きつと、人より濡れやすくして…やらしくて…。こんなちびすけなのに…おかしいですよ

ね…。

あ…んっ…そんな…こと…ない。ですか…。はあ…はあ…ありがたう…あむあむあむ

…。

ほんと 暗くなってきましたね…。はあ…はあ。あむあむあむ…

ん…あ…にい…ちゃん…。あむあむあむ…きもちい…。あむあむあむ…。

いった永海のこと…ゆつくりなでてくれて…やさしい。ん…うん…。

好き…なんですか…。

全部 知ったいまでも お兄ちゃんは…永海のこと…好きなんですか…。はあ…はあ…。

でも、永海はお兄ちゃんの妹です…。はあ…ん…うん…。

血のつながりはなくても…妹ですから…。

…。すいません。

ちょっと（なみが）怖くなってしまいました。

優しい耳なめ。ゆつくりと寝かしつけるように。

んちゅ…あむ…あむ…あむ…あむあむあむ…。

自分と同類なんていないと思っっています…。

多分、今でもそう…。お兄ちゃんと永海は違うって…思っています。

ゆつたりと秘所をまさぐられる

はあ…んっ…ううん…。

それでも永海のことが好きって、はっきり仰っていただいて…嬉しかった。だってお父さんは最後まで…いつてくれませんでしたし…。ぐすっ…

自分の子供として 愛してるとしか…。

はあ…はあ…。んちゅ…ちゆるちゆる…ちゆるちゆる

このあたりで下半身を触るのをやめる

結局のところ、永海は死んだお母さんのかわりでした…

いえ それすらできていたかどうかわかりません…。

おかしいってわかってたんです…。でも…。

お父さんを支えてあげたかった…

こんなふうにエッチなことだろうと、永海にもできることがあるならしてあげたいって

…。

はあ…はあ…んちゅ…ちゆるちゆる…。

ごめんなさい…お兄ちゃんが聞いてて不快なことは百も承知です…。

でも…みんなが強くなくてもいいじゃないですか…。

一人で立って…永海のこと守ろうとしてくれただけで充分です…。

それはお兄ちゃんとおな…（同じ）…いえ…すいません。

それに…。

お父さんが再婚してくれたおかげで…

永海は大事な人を見つけられました…。

お兄ちゃん…あむあむあむ…。ぐすつ…。

ごめんなさい…。こんなんで…

でも…死んだ人を悪くいわないで…お願いだから

お父さんのことこれ以上…ぐすつ。

あむあむあむ…あむあむあむ…。

さわってください…。

お兄ちゃんにもっと触ってほしい…。

永海のお母さん…お願いです…もつと…ぐすつ。忘れさせてください…。

「私」を忘れたんです…。

またゆったりと秘所をまさぐられる

うう…はあ…はあ…しゅき…こうしてるときだけ安らげます。

あむあむあむ…あむあむあむ…。

ん…。きもちい…。溶けそう…れす。はあ…はあ…。

まるで波にさらわれていく、砂ですね…。

お兄ちゃんは…海れす…。

広くて…暖かく包み込んで、安らいで…。

あ…はあ…んっ…ううん…きもちい…。

はあむ…あむあむあむ…あむあむあむ…。

…お兄ちゃん…。お兄ちゃん…。あ…あ…はあ…はあ…はあ…れろれろれろ。

この島はいいですね…。はあ…はあ…。

誰も永海達のことを知らない…。誰も 永海達のこと…気に留めない。

このまま朽ち果てても…放っておかれるかもしれません…。

はあむ…あむあむあむ…あむあむあむ…。

マイク…だんだん正面へ

…それでいいんですか…？

お兄ちゃんは、こんな生き方しなくていい人間ですよ…。

永海と違って…汚れてなくて…好きな人と子供を作って、幸せに生きる人生もあるでしよ…。

なみ（わからない。何が嬉しくて自分なんかを選んだろう…。

好きって言われるたびに、申し訳ない気持ちと共に何か落ち着かない、自分を
変えていくような居心地の悪さを感じるのはどうして？）

んあ！…ううん…

お兄ちゃん…。

キス…しましよ…。ありがと…ぐすつ。

んちゅ…れろれろれろれろ れろれろれろれろ…。ううん…。

もつとした らしてください…ん…。んちゅ…ちゅるちゅる…お兄ちゃん…あむあむあむ

…

はい…お兄ちゃんとのキスするのが一番幸せれす…。あむあむあむ…あむあむあむ…。

お兄ちゃん…。

ちゆるちゆる…ちゆるちゆる…。

永海（いつになっても引け目は消えない…多分ずっと。

お兄ちゃんにも辛い思いをさせてしまうだろう。永海の背後には父の影がある。

今ここで躰を重ねていても。呪いのようにつきまとい、幸せなること

は難しいだろう。

なのに　なんで永海を選んだろう…。どうして…？

はあ…はあ…。

TR6 海辺エッチ

手コキ&バイズリ&フェラ

本トラックの特徴はエッチを愉しんでいる妹が

お父さんとの思い出に苛まれてしまい泣いてしまうところです。

これは兄のことを本気で好きになりかけているためです。

愛を芽生えかけているため、相手のことを想うからこそ汚れた自分が悲しくて泣いてい
ると解釈してください。

// 正面10cm

波の静寂

すう…すう…あれ…?

いつの間にか眠ってしまったんですね。

…お兄ちゃんはずっと付き添っててくれたんですか…。

起こしてくれてよかったのに…。

// 左前 30cmへ

夜の海って本当に暗いですね…。

オイルランタンを持ってきておいてよかった。

火を灯す

これでいいですね。

夢を思い出す。

// 正面40cm

…。

この島に来る前のこと、夢に見てました…。

初めてのした日のこと…覚えてますか…。

兄「忘れらるわけないだろう」

あの日を境に永海とお兄ちゃんの関係が一気に変わりました。

家族とか兄妹とかそういう枠を超えて…恋人とも何か違う…。

どう説明していいかわかりません…。

ただ、この世の誰よりも信頼しています。

こうして触れてるだけで…身体が熱くなって…もっと触れたいくなります…。

／＼ だんだん正面20cm

さっきは永海の身体を慰めてくださいましたよね…。

今度はお兄ちゃんにしてあげます。

ズボンおろしますよ…

パンツを脱がす。

脱がされるの まだ慣れないんですね…。

下半身を手で隠してもランタンの灯りでしっかり見えていますよ…。

／＼ 右耳元へ寄る

吐息を厚めに

ほら、逃げないで…。よしよし…。

しーこ…しーこ…しーこ。はあ…はあ…。

今までと違って、妹っぽく甘えるような声で、

お兄ちゃん…永海おちんちんなくさめてあげるね…。

一瞬素に戻る

…お兄ちゃんは妹みたいな口調で、永海に欲情しちゃうの知ってます…。
だから…。

甘く

永海がお兄ちゃんの本当の妹になってあげるよ…。

エツチな妹…すぎだよね…。

兄「俺は永海が好きなんだけどな…。

でもこういうのも好きだよ…。もっとしてくれ」

こうやってしこしこ、さわさわされるのも好きだけれど

永海のおまーい声で不意打ちされると、きゅんってなって、

お射精したくなるの…もうわかってるよ…。大丈夫…。永海がよしよししてあげるよ…。

しーこ しーこ しーこ。

永海はお兄ちゃんの妹だからなんでもわかるんだよ。

えっちな永海の声、いっぱい聞かせてあげるね…はあ…はあ…。

だんだん興奮してくる妹

しーこ、しーこ しーこ。恥ずかしいねえ。はあ…はあ…。

お兄ちゃんのおつきくて、あつくって かたーいこれ…しこしこするとぶるぶる震えて

…

ああ…永海、濡れちゃうよお…。

おまんこ触ってみて…ほら…。ん…あ…ああ…。やらしい音するでしょ…。

あ…んっ お兄ちゃんが…はあ…はあ…お兄ちゃんのお手てが好きだからだよ…。

あ…あ…はあ…はあ…おまんこきもちい…。

(やんわり喘ぎ20秒)

…永海も もっとお兄ちゃんの触りたいよおっ…

ゆっくりこするように いやらしく

しーこしこ しーこしこ… しーこしこ…。 いっちゃだめだよ…。

はあ…はあ…はあ…んっ…さわりあいっこ…兄妹で…んあ…はあ…ああ…。

しーこしこ しーこしこ しーこしこ…。 いかないでね…。我慢してね…。

永海のおまんこにいれるまで我慢できるよね…お兄ちゃんだもんねえ…はあー！

しーこしこ しーこしこ… しーこしこ…あ…あ…んっ。

恥ずかしそうにしてるお兄ちゃん…可愛いよ…くすくす…。

しーこしこ しーこしこ しーこしこ。

どっちが先にいっちゃうかな…あ…あ…はあ…しこしこ…しこしこ…。

ああ…お兄ちゃんだけが脱ぐのは不公平だね…。

上を脱いで下着姿になる。

// 正面30cm

永海も上脱ぐね…。ん…ふう…。

見せてあげるから…永海の身体 ほら…。お兄ちゃん…。みて…みて…。

// 正面やや右 10cm

しーこ しーこ しーこ しーこ

…そんなにおっぱい見て…好きなの？。

うん…このところ日に日に大きくなってるね…。背は相変わらずだけど…。

しーこ しこしこ にぎにぎ にぎにぎ…。はあ…はあ…。

永海のお母さんも大きかったみたいだよ…。

お兄ちゃんは… 永海のおっぱい小さいのが可愛いつていったから、

あんまり嬉しくないのかなあ…しーこしこ しーこしこ しーこしこ

…ふうん…。じゃあ今までは永海に気を遣って嘘をついてたってことだね。
どっちでもいいよ。永海のこと好きでいてくれるなら…。

// 右耳元へ

ほら…見せてあげるから…もっと触らせて…

お兄ちゃんもおまんこ触って…

しーこしこ しーこしこ

にぎにぎ…はあ…はあ…。おちんちん むくむくっっておっきくなってる…

おにいちゃん…。いきそうになってるでしょ…しこしこ 永海の小さいお手々に犯され
て…

我慢できなくなってきた…はあはあ…。

だめなお兄ちゃん…妹のお手々で気持ちよくなって…。おっぱいガン見して…。

しーこ しーこ しーこ しーこ。

はあ…はあ…。しこしこ しこしこ しこしこ

そんなにおっぱい好きなんだ…。

// だんだん正面20cmへ

じゃあ…これでおちんちんしごいてあげようか…。

いいよ…。永海も興味あるから…。

よいしょ…。

パイブリスタート

こうやってはさんで…んっ んっ んっ ふう はあ はあ。

あまく。エツチに

はあ はあ きもちい？

はあ はあ。 永海も興奮するっ…んっ はあ

んっ んっ ふう ああ お兄ちゃんのおちんちんあっつ はあ かった…

速度はややつくりを意識してください。早くならないように注意してください。

ぎゅ ぎゅ…ぎゅ ぎゅ んふふ…。

そんなに挟まれて嬉しいの？ 柔らかい…んん？ もっとしごいてほしい…？

んっ んっ はあ はあ はあ それともっ

永海に見つめられながら おっぱいで虐められのが、そんなに興奮する？

あ んっ はあはあ…

※自分で言ってる胸を打たれてます。

こんな自分を好きでいてくれる兄のことをありがたく、愛しく思う気持ちが芽
生えだしています。

だーいすきだもんね…。奈美のことが…。

守ってくれるんだもんね…はあ…はあ…。

守りたい子に、欲情するのは あたりまえだよね…

永海も お兄ちゃんのお顔見ると濡れるよっ…。はあ…はあ…。

永海がパイズリしてあげてるのに…。

自分からおちんちん動かしておっぱいで自分から気持ちよくなろうとしてるお兄ちゃん見ると濡れちゃうよお…。はあはあ…ああかった…。

我慢できないお兄ちゃん可愛いなあ…。はあ…はあ…永海の胸にあそこすりすりして
くる

おちんちんこすりつけて 気持ちよくなろうとしてるお兄ちゃん…いやらしいよお…

はあ…はあ…

だんだんテンションを高めてください。

もお おまんこ 切なくって せつなくって いますぐいれて 突いてほしい！はあ
はあっ！

ああ…濡れる 濡れるよお お兄ちゃん お兄ちゃん はあ はあ

…だめだよ。お兄ちゃん いじめ足りないから…はあ…はあっ！

だってさつき 永海のクリトリスいじめながら、永海のお顔を眺めてた はあ…はあ…

悪いお兄ちゃんだった…はあ…はあ…

まだパイズリ中です

だからお仕置きしなきゃ…しこしこ しこしこ。

おちんちん、おっぱいで挟んで…お射精我慢させて虐めるの はあ はあ…、んっ し

しこしこ しこしこ

もう だめえって 困ってるところ はあ はあ 永海にみせて…はあはあ。

みたいなあ…みたいよお…。お兄ちゃんのエッチなお顔、永海大好き…。しこしこ し

しこしこっ

興奮気味に だんだん早く

兄の自分に向け熱い視線、愛にだんだん胸を打たれて、

「あれ？自分お兄ちゃんのこと好きじゃね？」ってなるんですが

そのときにお父さんのことが浮かんで自分の存在に絶望します。

そう…そう！…その顔だよ…！

苦しいねえ、 いますぐお射精したいよねえ… だめだめだめ！我慢！我慢してえ！

もっとおっぱい虐めてあげるよ…んっ んっ はあ はあ…。

ああ…すきい…お兄ちゃん…すきだよ。 しこしこ すりすり…

ほんと永海のこと大好きだねえ…くすくす。 しこしこっ しこしこっ

永海なんてどうしようもない子、 どうして好きなの…？んん？

はあ はあ んっ んっ エッチにしか興味ないんだよ、永海！ はあ はあ

ねえっ 毎日おまんこにおちんちん入れてないと死んじゃうぐらい、エッチで、

他に取り柄なんてなくて、お父さんとしてっ まだ忘れられなくて！

急に失速して、絶望する。

なのに

なのに…

どうしてなの…なんで ぐすっ。

フェラ

あむあむあむあむ…あむあむあむあむ。はあ、はあ…にがい。

テンションが一気に下降して、素に戻る

ああ…ごめんなさい…。

最後まで妹っぽく振る舞おうとおもったんですが…なんか やっぱりだめみたいです…ぐすつ。

あむあむあむあむ…あむあむあむあむ…もう少し…舐めてもいいですか…。

はい…挟んだまま、舐めます…。ぐすつ…うう…

はむ・はむっ…あむあむあむあむ…。ちゅるちゅる…。

あむあむあむあむ…お兄ちゃん…。おっぱい気持ちいいですか…。

出したかったら、いつでも出していいですからね…。

あむあむあむあむ…あむあむあむあむ…。

意地悪して すいませんでした…。

こんな永海の口でよければ、出してください…。

全部うけとめますから…。

はい…いかせてあげます…。

激しくフェラ

はむ！はむ！あむあむあむあむ。あむあむあむあむ…。

あむあむあむあむ…ちゆるちゆる…。

あむあむあむあむ…あむあむあむあむ…。ちゆるちゆる…。

パイズリしながら舌を伸ばして舐めてます。息遣いを意識してください。

ああ…お兄ちゃん…。おいしいですよ…。舐めてるだけで濡れちゃいます。はあ…はあ

…、こーしてると永海のほうがいきそうれす…。

あむあむあむあむ…ほんと どうしようもない子で ぐす…えっちしか ないんれ

す…。

あむあむあむあむ…嬉しいですよ… お兄ちゃんとえっちできて…。

ありがとうございます… こんなとこまでついて来てくれて…。

うけとめますから…だからたくさん永海のお口にだしてくださいね…。

激しめに、興奮しながらフェラ

ちゆるちゆる じゆるるる はあはあ ちゆるちゆる おにいひゃん らしてくらさ

い

あむあむあむあむ…ちゆるちゆる はあ はあ ちゆるちゆる…あ、震え んっ！

精液が出そうになるのを察して、奥で飲み込もうとする

ちゆるちゆるじゆるるう んっ んん！！ ちゆるちゆる。

んあ はあ…はあ…。

おにいちゃん…。 苦いです…。 はあ…はあ…出しすぎですよ…。 (優しく 嬉しそう

に)

TR7 潮騒のやすらぎセックス

// 正面20cm

自嘲しながら、悲しみにくれています。

…ぐすっ…。ありがとうございます…。

結局お兄ちゃんの妹になりきれませんでした…。

だめ…ですね…。

// フェラ

ぐす…あむあむあむあむ…。

おちんちん…ください…あむあむあむあむ…。

こうしてないと…永海… 自分の過去に負けそうです…。

あむあむあむあむ…。

はあ…はあ…。

苦いです…熱いです。お兄ちゃんの…。

そういえば…初めて飲んだかもしれないです…。

あむあむあむあむ…ちゆるちゆる…。永海はお兄ちゃんの味…好きですよ…。

いくらでも舐めてられます…。あむあむあむあむ…。

／＼一人でクリトリスをいじりはじめる

…ああ…んっ あ…あ あむあむあむあむ…。

ああ…ごめんなさい…舐めてると…疼いて…しかたないれす。ぐすっ…。

触ってます…ひとりれ…ごめんなさ…んあ…あっ あむあむあむあむ…はあ…はあ…。

ほんとは ものすごく 入れたいんれす…。れも お兄ちゃん 出したばかりで…だか

ら…我慢します…。

無茶しなくてもいいです…。

…お兄ちゃんのおちんちん 味わいながら 自分ので触っていいですか…？

…ありがとうございます…。あんまり見ないでくださいね…。

オナニーしながら、フェラ

んあ…はあ…はあ…あむあむあむあむ…ちゆるちゆる んっ あ あっ きもち…

ああむあむあむちゆるちゆる…にいちゃん…おまんこ 入れへる つもりれ触ってま

す…。

はむはむはむあむあむ…あ あ はあ はあ 永海の指 お兄ちゃんのおひんひん

れ だったり はいっひやり…

はむはむ…ちゆるちゆる…いつもより ちいさいけど… お口のなかにあるこれが

永海のおまんこ ついて くれて…あっ あ はあ…はあ…

お兄ちゃん 見ないれっていったのに…

永海の顔、 そんなに見て だめれす はあ…はあ… あむあむあむあむ…

らって からら 熱くなって だめれす…あむあむあむあむ…興奮して…あむあむあ

むあむ…。

にいちゃん…お兄ちゃん…濃い味 ん あ あ おまんこきもちい

あむあむあむあむ…はあ…はあ…。海の音…。心地いいれす はあ はあ…。 ちゆる

ちゆる…ちゆるちゆる…。

初めてあった日…永海が妹になって嬉しいって言ってくれましたね…。

でも、お互いどう接していいかわからなかったです。

あの頃が懐かしいです…。

だんだん穏やかに舐めて触る

あむあむあむあむちゆるちゆる…。

ん はあ はあ あむあむあむあむ…。

本当の自分をさらけ出すなんて…そんな馬鹿なことできないって思っていました…。

いくらお兄ちゃんでも…離れていってしまうだろうなって…。

あむあむあむあむ…あ はあ…はあ…ぐすつ…。

ちゆるちゆる…ちゆるちゆる…。

どうして…。ついてきてくれるんですか…。

永海の後ろにいるお父さんの影をあなたが一番気にしているはずなのに…。

あむあむあむあむ…んっ あ はあ はあ…。

兄妹だから…。

兄妹はこんなことしません…。

あむあむあむあむ…あむあむあむあむ…。ちゆるちゆる…んっ あ…はあ はあ…。

妹のオナニーする顔みて、興奮するお兄さんなんて、いませんよ…。

ちゆるちゆる…ちゆるちゆる…。はい…おっぱいも触らせて、なんて言いませんね…。

ん…あ…あ…おっぱい…きもちい…。お兄ちゃんに触られて…うれしくなってる妹も変

です…。

あむあむあむあむ…またおちんちん、大きくなった…。

ほんと…永海のこと大好きなんですね…。

何が、いいのか…さっぱりわからないです…。

できますか？ まだできるなら…して…お兄ちゃん。

おまんこ、してください…。 はい…。 入れます…。

お兄ちゃん…。 永海 酔ったみたい…れす…。

お兄ちゃんの精液…熱くて…おまんこがじんじんします…。

// 正面30cm

んふふ…。 ほら、とろんとろんでしょ…。

もう下ろすだけです…。 いきますよ…

うっ あ あっ んん きつ た。 はあ…はあ…

どう…ですか…。 なんの抵抗もなくすつきり入っちゃって…

これがお兄ちゃんの初めてを奪ったおまんこですよ…。 はあ、はあ…。

もう、お兄ちゃんのものですから…。

んっ あ あっ あ へへ すいません、勝手に動いちゃって…我慢できない うっ
や あ っあっ う んっ んあ

腰があ 勝手にい んっ んっ あ あっ ああ 海だ…。海のなかにいりゆ みた
い。

およいれる… うみ あ あ あっ んっ んっ あたま変 あ あっ あ 溺れち
やううう あっ あ あ だって我慢できない

あ あ ああっ 変 んっ ああ にいちゃん お兄ちゃん 変！ あっ あっ あ
っ あ っくう いく！

なんれ、もお 永海どおしちやったんれすか、 はあ はあ おまんこ おまんこらめ
え んっ あ あ

(嬌声20秒)

いったん腰を動かすのをやめる

はあ はあ はあ…いきかけました。

お兄ちゃんの精液飲んだせいですかね…。

いつもより身体が熱いです…。

今の永海 何するかわからない…。ちよつと怖いです…。

でも、お兄ちゃんは受け止めてくれますよね…。

はい…信頼してますよ…。

お兄ちゃんが動いてください…。して…ください…。

んっ あ あ にい ちゃ… あ あっ あ あっ！ ずんずんくるっ

おっきい あ あっ 壊れる こわれます！ 入らない あ

おまんこいっぱい あ あ おまんこ いやっ あ あっ あっ んっ んっ

おっぱい 触ってください！ んっ あ あ お手々 あったか んっ あ あ

永海の 身体 お兄ちゃんのです からっ！ お兄ちゃんのほうが きもち いい

ですからっ

んっ んっ あ あっ！ らから、 もお お父さんのこと 考えないれ！

んっ あ あ 永海のことだけ 考えて！

後で悲しんで 怒っていいから

永海だけ見てっ あ あ あ！

（徐々に激しくなる嬌声 20秒）

あああああ！ すごっ いい んっ んっ くるっくる！

あっ お兄ちゃん！ お兄ちゃん！ だめっ いくっ いくっ！

あ 奥、壊れるよお！ あ あっ あっ ついて ついて！ そこっ！ んんっ！

(激しい嬌声 20秒 偶にお兄ちゃんと呼ぶ)

いっく！ あっ！ あっ！あっ！ あああっ！！！！！

はあ…はあ…はあ…

抱きしめて動くのをやめる

体制をおろして、抱き着く。

//正面至近距離へ

お兄ちゃん…ちゆるちゆる(キス)

また いっちゃんいましたね…永海の中で…。はあ…はあ…。

でも…永海…はまだ足りません…。ちゆるちゆる…。おちんちん借りていいですか…。

ん…あ はあ…はあ…。 だめです…。 永海が満足するまで離しません…。

騎乗位でまだ腰を振る

//正面30cm

逃げられません…。 あ あ…んっ んあ…。

ちゆるちゆる…。妹に中出ししてしまう悪いおちんちんをわからせてあげます…。

永海に出すと…どうなるか…味わってください。んっ あ あ はあ…はあ…。

奥がじーんって熱くなって、離したくなくなるんです…。んっ あっ はあ…はあ…。

もお無理って顔も可愛くて好き…。お兄ちゃん…ちゆるちゆる…。

永海を愛してくれてありがとうございます…。お兄ちゃんがいるから…生きてられま

す…。

ん…あ はあ はあ…。だっこしてください…。 はなさないれ…。

あ…あ あったかい…お兄ちゃん…んっ んっ あ あっ

いつも一緒にいてくれてありがとうございます…。んっ あ あ。

18. 浜辺の添い寝セックス

〳〵 右耳元へ

はあ…はあ…はあ…。

何度したのか…何回いったか…もうわかりません…。

思った通り…あんなに声を上げたのに、だーれも来やしません…。

この町はいい町ですね…。

まるで永海みたいです…。

はあ…はあ…はあ…。

〳〵 だんだん正面至近距離へ

お兄ちゃん…。キス…したいです…。

あむあむあむあむ…あむあむあむあむ…。

キスが一番幸せです…。

意外ですか？…そうかもしれないね…。

だってお兄ちゃんの顔が近くにあるから…。

好き。

永海はお兄ちゃんが…好きです。ぐすつ…。

好きで、好き過ぎて…おかしくなりそう…。

夜這いなんて馬鹿なことをしたのに…受け入れてくれた。

お父さんと間違いを犯したのに…変わらず好きでいてくれる…。

汚らわしいものを見る目ではなく、本気で怒って…

もう終わってる永海のこと 愛してくれる…。

本当にいるんですね…。あなたみたいな人が…。

ん…あむあむあむあむ…ちゆるちゆる…。

はあむ…あむあむあむあむ…。お兄ちゃん…お兄ちゃん…。

今も 死にたくなるんです…。

お父さんを拐かした自分が、こんな幸せでいいはずがない。

あなたを巻き込んで許されるはずがない。

あむあむあむあむ…あむあむあむあむ…。

ちゆるちゆる…お兄ちゃん…。ぐすっ…。

だって永海とこうしてて、お父さんの顔が浮かぶでしょ…。

永海だけじゃないでしょ…。

はいっ…黙ります…ぐすっ。

忘れ…させてっ…

やんわりと腰を振る兄

ちゆるちゆる…んあ…はあ…はあ…おまんこもなでてください…。

お兄ちゃんのおちんちんで撫でてください…。

はあ…はあ…んっ いいです…。はあ…はあ…そ…。ゆっくり 腰 動かして…。

はあ…はあ…。疲れる？

何回いつても…元気ですよ…。

小さいおまんこですが…いつも元気です…。

それしか…取り柄がありませんから…はあ…はあ…。

とても、手のかかる子でしません…。

そんな子を好きになった、お兄ちゃんが悪いです…。

もう…放り出されたら困ります…。

今、あなたがどつかいてしまったら、挫けてしまうと思います…。

ちゆるちゆる…ちゆるちゆる…。

ヤンデレ？ 永海が？

違います…。

違う…と思います…。

死ぬほど愛していますが…お兄ちゃんが他の子と仲良くしてもお兄ちゃんもその子も傷つけたりしません…。

永海がいなくなると思います…。

だから、大丈夫です…。

あむあむあむあむ…ちゆるちゆる…。

怖がらせてごめんなさい…。

だって…お兄ちゃんが意地悪なことを言うからです…。

はあ…はあ…。お兄ちゃん…。いなく…ならないでください…。ぐす…。

あむあむあむあむ…すき…。あむあむあむあむ…。

はい…。知ってます…。永海のことを愛してくれますもんね…。

ずっと、目で、好きだって言ってくれてる…。

ほんと…お兄ちゃんは…。

あむあむあむあむ…。あむあむあむあむ…。

はい…逃しません…。歩けるようになって…永海のもんです…。

ずっとずっと…そばにいて…。

はあ…はあ…はあ…。お兄ちゃん…。お兄ちゃん…。